

日本核酸医薬学会第8回年会へ初出展 (ペプチスター社と共同出展)

去る2023年7月11～14日にかけて、日本核酸医薬学会第8回年会が名古屋大学豊田講堂にて開催されました。その付設展示会にて、当社プロセス機器事業部は、中分子医薬品の国内最大級の製造設備を有しオールジャパン体制による技術開発を行うペプチスター社と、共同で初出展をいたしました。

4日間の学会参加者は約1,000人、当社ブースにも多くのお客様が来訪されました。当社ブースではペプチスター社と共同開発を行っている新型凍結乾燥機「RHEOFREED-PV type」を中心にPRを実施。同機は乾燥時間の短縮や製品の均質化のみならず、装置洗浄が容易であり、粉碎等の後工程を省略できるという特徴を有する攪拌式凍結乾燥機です。今回、開発成果として、中分子医薬品の乾燥時間を、従来の棚段凍結乾燥機から80%削減に加えて残留溶媒の低減や均質性の向上についても多くのお客様から高い評価をいただき、生産性向上やカーボンニュートラルへの貢献が期待できる機器としてご認識いただきました。また、この展示会で面識を得られた中分子医薬メーカーやベンチャー企業の方々と更なる技術交流を深め、核酸医薬分野への当社プロセス機器のプレゼンスを向上すべく技術力を磨いていきます。

今回の出展では、当社の技術力をPRだけでなく、既設機器やプロセスの改善に対する課題やニーズなど、今後の製品開発や営業活動の指針となる有効な情報を交換することができ有意義な展示会となりました。



日本核酸医薬学会第8回年会 ブース会場